

## 全日本民医連 ナース★アクション第217回通常国会第2回国会行動の概要報告

### 看護職員の養成と定着のための施策の抜本的な強化を！

◎日時/2025年5月20日(火) 14時～厚労省・文科省交渉 14時半～院内集会 15時～議員要請

◎会場/参議院議員会館 講堂

◎参加者;看護職員・看護学生担当者など150人 高等教育無償化署名;410,804筆提出

▶院内集会参加議員各位[倉林明子、小池晃、伊藤岳、紙智子、秘書参加 山下芳生・吉良よし子]

◎賛同国会議員;58人[2025年5月23日現在] 立憲民主党(32名)、日本共産党(19名)、れいわ新選組(2名)、国民民主党(1名)、社会民主党(1名)、沖縄の風(1名)、無所属(2名)

※「賛同議員一覧」別添

◎取材;しんぶん赤旗/社会部・日曜版、朝日新聞、高齢者住宅新聞、ボトムアップチャンネル

進行/宮川喜与美理事

### <開会挨拶>川上和美 副会長(熊本/社会医療法人芳和会看護・介護部長)



この間テレビで「看護師がたりない・・・」と看護の現場の実態が報道されました。看護師の退職が続く、「人員体制がずっと不足、足りないなか応援で何とか切り抜けるということを経験するを得ない状況に申し訳なさいっぱい」と涙ながらに話をする看護管理者の姿がありました。多くの葛藤や苦悩を抱えながらも、それでも、「地域になくってはならない病院を守っていきたく、看護の体制の不足で病院がつぶれることがあってはならない」と、患者さんのいのち・くらしを守るために、強く訴え、奮闘しています。全国各地で、看護管理者をはじめ看護職員たちが、苦悩しながらも、命と暮らしを守るケアの担い手としての使命感・責任感によって持ちこたえている現状もあります。

しかし、看護は看護職員の努力や犠牲のもとで成り立ってはいけないのだと思います。良質な医療・介護、看護の提供には、一人ひとりがやりがいと誇りをもって、専門職としての力を十分に発揮できることが何より大切です。豊かな実践を通して学び、働く喜びを実感でき看護師としての誇りを持ち続けられる、誰もが、ケアシケアされ生きていける社会が最も重要です。日本看護協会も、5月16日付で全ての看護職員の処遇改善、診療報酬の期中改定も視野に看護職員をはじめ、医療従事者の賃金上昇に結び付く財政支援等の要望書を提出されました。私たちがさらに現場から声をあげ、国民のいのち・くらしを守るために行動します。議員の皆様には、引き続き、医療や看護・介護現場、看護職養成及び看護学生の実情を掴んでいただき、私たちの声を国会に反映し政府を動かしていただきますよう、どうぞよろしくお願ひします。

### 【現場からの訴え】

#### ①京都/近畿高等看護専門学校 専任教員 江藤美佐子 さん



7割の学生は奨学金・アルバイトをしないと看護学校に通えず、奨学金貸与については、200万円以上が半数を占めており、返済に20年かかるという学生もいます。学生は、切り詰められるのは食費や生活費と言います。実際に昼食を菓子パン1つや自宅からおにぎりを握ってくる者、カップラーメンで済ませる学生も多く見られます。さらに、試験勉強や課題、実習に出れば記録や疾患学習に追われます。バイトする時間がなく、「我慢と節約を強いられ、自分らしい生活が出来ない」と訴えています。経済的困窮から生活や学業に影響が及んでいる学生が少なくありません。授業に遅れてきたり休んだり、来ていても居眠りする学生が多いです。これは学生の自己責任でしょうか？看護師として未来を担う学生たちの学びを保障するのは国の責任ではないでしょうか？

もう1つは、看護師養成所の運営に関する要望です。近年京都では学校経営が厳しく廃校していく養成所が増加しています。また、コロナパンデミック後の感染対策においてマスク、消毒液、ICTなどの充実費用が増し、現行の補助金では不足しています。また、京都北部地域への臨地実習において遠方であるため宿泊費や食費、交通費が必要です。物価高騰による影響で

費用が膨れ上がり、現行の補助金では賄いきれません。線引きした現行の奨学金制度ではなく、高等教育無償化や看護師養成所の運営事業補助金の拡大を強く求めます。

## ②山梨/共立高等看護学院 事務長 浅川 雄一 さん

要請項目3の機関要件の撤廃について発言させていただきます。

修学支援新制度の対象となるためには、学校が機関要件の確認学校とならなければなりません。医療を取り巻く経営環境は非常に厳しく、私たちの学校のある山梨県でも病院の7割が赤字という状況です。機関要件の中でも最も重くのしかかってくるのが経営要件です。私たちのような私立専門学校には、「設置者の財務内容の状況が3期続けて赤字となってしまうと確認学校にはなれない」という要件があります。この要件は学校法人立の学校ではなく、私立の学校のみ課せられています。今回対象が拡大されましたが、入学した学校が機関要件の確認学校に指定されているかないかで支援を受けられないというのは不公平であると思います。2020年4月に始まった修学支援新制度ですが、機関要件の見直しを求めこれまでも要請してきました。学校法人立であろうと私立の学校であろうとも教育に関わる志は同じです。すべての学生が等しく制度の対象となるよう機関要件の撤廃を要請します。



## ③公益社団法人福岡医療団 看護部長 河本 真理 さん



地域の、特に中小規模の病院では、看護師不足のため病床閉鎖を余儀なくされ、閉鎖による経営赤字も深刻です。昨年は、当法人の急性期病院でも1年中看護師不足が続き、昨年の秋までHCUの病床削減を余儀なくされました。求人をしてハローワークや看護協会のサイトからは、ほぼ応募が無く、やむなく紹介会社に頼らざるを得ませんでした。昨年1年間で中途採用の約70%が人材紹介会社からの入職なので、紹介料だけで2,000万円を超えました。看護師の離職率は11.3%と2023年度より0.5ポイント低下(日看協調査)したにもかかわらず病床閉鎖せざるを得ないということは、看護師の絶対数が足りていないのだと思います。看護職員の需給については、2019年11月の「看護職員需給分科会中間とりまとめ」以降、実施されていませんし、この需給推計も2025年、つまり今年までのものです。実態に見合った、長期的な視点での需給推計を示して頂きたいと思えます。

次に、賃金に見合わない過酷な看護労働環境についてです。看護のケアは、コロナが2類だろうが5類になろうが変わりません。今も様々な感染リスクにさらされながら、24時間患者さんの命をまもるため、ケアにあたっています。入院患者の高齢化、認知症増加などで、ナースコールも多く、とても看護の手が足りません。当院の夜勤は2交替制で16時間、忙しくて満身に休憩がとれない時は働きづめ、こんな夜勤を月に4・5回です。夜勤可能な看護師も不足しがちで、6回以上になる時もあります。このように、過酷な看護の労働環境の中で疲弊し、美容外科へ転職したり、患者さんに寄り添った看護ができない、と退職を決意したり、看護師そのものを辞めて離職する。その結果、更に看護師不足、という悪循環になっています。

国として、看護師不足の状況を「需給見通し」として再度明らかにすること、看護師の労働環境改善や賃金アップができるよう、診療報酬を引き上げる臨時改訂を訴えます。

## ④津軽保健生活協同組合 看護介護部長 寺島 由美 さん

当法人は単独型の広範囲な地域を対象とした個別訪問看護を展開しています。基本的には車にて片道30分以内で行けるところを提供範囲としています。しかし、サービス提供可能な施設が無いなどの理由で、片道1時間もかかるところからの依頼もあります。私たちは看護ケアが必要な方には必要なケアを届けたいとの思いで半日1件の訪問になったとしても時間をおしまず訪問しています。冬季になれば、10分で行けるところも1時間かかり、利用者宅玄関前が雪

で覆われ、雪片付けをしなければ家の中に入れないということは少なくありません。

訪問看護は基本的には一人です。それは利用者さんの病態のアセスメント、生活アセスメント、看護判断、ケア提供を対応場面では一人で行うということです。そのため看護師としての力量が求められるのです。2024年の診療報酬・介護報酬改定ではやはりこの物価高騰、賃上げに対応できるよう報酬にはなりません。訪問看護は介護報酬での訪問看護も実施していますが介護処遇改善評価料加算の対象にはなっていませんし、医療保険で請求するところのベースアップ評価料の加算は付きましたが、非常に低い額に留まっています。そもそも介護報酬請求が多い訪問看護ステーションでは一人当たり1,000円程度の分配にしかありません。同じ法人内で、急性期病院の看護師には看護評価料とベースアップ評価料を合わせて15,000円位となっていますが、訪問看護ステーションの看護師は3,000円です。

青森県における地域医療介護総合確保基金では、過酷な条件下で地域包括ケアを中心的に担う訪問看護師確保のための処遇改善手当はひとつもありません。在宅医療の要となる訪問看護師への処遇改善は必要な措置だと思います。



### <国会議員の発言とご挨拶>



◎倉林明子参議院議員 [国の皆さんには、繰り返し繰り返し要請をしてきている事を踏まえて一歩も、二歩も踏み込んで回答してほしいという思いがあります。とりわけ、今の看護師の養成、看護師の離職と合わせて、看護職養成校がもたない、廃校のスピードがすごく上がっているわけで、危機的な状況だという認識を改めて持っていて、持ち帰っての検討も含めて、前に進めていただきたい。看護職員需給推計はこれから地域医療構想を踏まえて出すということですがけれども、介護の現場では介護職員、看護の現場では看護師がいなくなってしまうのではないかと。決定的な不足をこのまま放置するわけにはいかない、急がれるということを強調しておきたいと思います。]

◎伊藤岳参議院議員 [本当に皆さんの願いは切実だと思います。ケア労働者というのは診療報酬という国が決める価格で賃金が上げられるはずなのに、それが不十分で一つの病院の経営に負担をもたらし、そして一人の看護師さんの人件費に回らずに、それがさらに人手不足を加速させるという悪循環に入っていると思います。この悪循環を断ち切るために、私も皆さんと力を合わせて頑張ります。]

◎小池晃参議院議員 [本当にこんなにたくさん集まっていて、そしてこの声を直接、厚生労働省、文科省に伝えること自体が本当に大きな意味があると思っています。国が出しているお金が、回り回って病院の経営に回るかもしれないと回答していました。しかし今、病院の経営が深刻な事態になっている時に、診療報酬、介護報酬が固定されているもどで、物価はどんどん上がっているわけですから、2年待たずに改定して引き上げなきゃいけない。そのためのお金はミサイルをバンバン買ったりするような、そういう政治を変えて、きちんと医療や介護に税金を回さなければいけないと思います。]

◎紙智子参議院議員 [コロナの時、看護師の皆さんが、責任感と使命感で大変な中で持ちこたえて頑張ってきた姿を思い出します。北海道から要請に来ていただいた看護師さんが、「実は、私の給料は娘のアルバイト代よりも低いんですよ」というお話しがありました。命を預かって懸命に働いているのに、こんな状況でいいのかということは、本当に怒りを共有したいと思います。私、農林水産委員ですがけれども、大臣の発言がどれだけ皆を傷つけているか。おコメを買いたくても買えなくて、子どもに対してお代わりが無くてごめんねって言わなきゃいけない親の気持ちがわかってい

るのか、と質問しました。やはり政治の大元を変えなければと思います。]

### <閉会挨拶>須田倫子 看護委員長(北海道勤医協統括看護部長)

本日は、沖縄から北海道まで約 150 名の方々が参加しています。そして、悲鳴が上がる私たち看護現場の実態や、絶対的・慢性的看護師不足が進行し、地域医療と看護が危機に直面している状況を、国に訴えてきました。2025 年から 2040 年にかけて起きる人口の変化は、一言でいえば「高齢者の高齢化」です。高齢者の中でも超後期高齢者と呼ばれる 85 歳以上人口が、毎年 1 割から 2 割増しで増えていく。そして 2040 年に 85 歳以上の人口が 1,000 万人を突破すると予測されています。



医療介護ニーズは増々高まる一方で、少子化も進む中、2040 年には医療福祉の就業者は全働き手の 5 人に 1 人必要だ、と言われていています。それなのに、医療や看護の担い手になる学生さんたちが、世界的にみても異常に高い学費を払い、奨学金という名のローンの支払いのため、夢をあきらめざるを得ない、苦しい叫びとその改善も、私たちは国に訴え続けてきました。

この、院内集会后は国会議員要請行動になります。私たち看護職が、持続可能で国民のニーズに応える医療提供体制を維持する上で、国民の健康と生活を支えるために専門職として一層活躍できるよう、その養成、処遇の改善、資質の向上、就業の促進等を進めるための具体的施策を、是非、国会で働き掛けていただきたいと、国会議員の方々に訴えていきましょう。

この間、院内集会を積み重ねてきて、議員さんたちが、この院内集会にも駆けつけてくれたり、メッセージをくださったりエールを送ってくれたこと、これからも継続した運動の大きな力になると思います。本当に、政治の大元を変えることが、どんなに大切か痛感しています。これからも、引き続き頑張りましょう。



ダイジェスト版 <https://youtu.be/pKdlfWqroo8> (YouTube 限定公開)



- ※1. 厚労省・文科省交渉の報告
- ※2. 第 217 通常国会での賛同議員一覧
- ※3. 各地のニュース&「しんぶん赤旗記事」